

革新力

■顕微鏡の量産化からラをつくってほしい」スタート

東京・八王子、オリ

ンパスのグローバル本社がある。本社の一世界初、実用的な内視鏡に「オリンパスミュー鏡の研究開発が始まっ

が並び、オリンパスのインベシジョンの歴史がわかる。

1919年、当時、

世界中に最高の医療を提供するため、内視鏡の技術開発は続く オリンパス



上は、内視鏡を使った診断。下は、ケニアにおける内視鏡育成プログラムの様子。画像提供はオリンパス

解析し、医師の診断をうした接点を継続し、るプロジェクトを実施補助するソフトウェア 医師と一緒に製品をチしている。ベトナムで「EndoBRAiN」チームとして開発する、内視鏡技術向上を目指した教育プログラムに本向けに発売。AIは、社では出来上がっている。検査中に腫瘍の悪性度 ます。それが、大きな 対して支援している。 について判別し、医師 シェアを持つに至った 「新技術を搭載した が適切な診断を下すた 理由の一つだと思いま 及しているかといっ す」。

■内視鏡市場をリード 内視鏡で、世界の人々に健康と安心、心の豊かさを実現していきなという事情もあります。最高の医療を

■世界初、実用的な胃カメラ開発

国内の顕微鏡はドイツ製が中心で高額だった。「安価で多くの人に使できるように」と、創業者の山下長（やま 極小レンズの製作、強分に使えるものではな 1975年頃 鏡の先端に超音波を発 医師と常に腹を割っ 経済発展が進み、消化 器系の病気も増えてい 思っています」と猪股氏。そして、「もう一つ、

949年、光学技術に 発に成功した。しかし、 アメリカで開発され 「治療」が可能になり、 まで診断をサポートで じている課題や、我々 が見落としている部分 治療機関と連携し、新興 います。それが我々

なかを写して見るカメラ ラッシュュさせて撮影 64年には、胃カメラ ビデオカメラを内視 鏡に組み込んだ「ビデ オスコップ」は、画像 を電気信号でモニター のように説明した。「内 向けて支援プログラム 開発当初から、 アフリカのケニア。 ベーションの一つだと